

未来の幸せ・世界の幸せ

金沢大学附属高等学校 一年 有江 晴花

グローバル化が進む現代社会は、日々様々な問題に直面している。環境問題や貧富の差、外交面、そして国際紛争。世界の未来を考える上で、これらは重要なカギとなるのではないか。私は紛争に重点を置いて、未来の幸せについて考えてみようと思う。

まず、紛争と戦争の違いは何か。戦争は国家間の全面的な武力衝突を指す。それに対し、紛争は小規模で部分的なものだ。ではなぜこのような武力衝突が起こってしまうのか。これには領土問題、民族問題、貧富の格差、資源獲得競争など様々

な問題が入り組んでいるとされている。二十世紀は戦争の時代とも言われ、日本も含めて世界各地で戦争が起こった。平和な二十一世紀と願われていた今日であるが、紛争が今も起こっているのが現状である。

先日、ジャーナリストの山本美香さんの一周忌を迎えた。ニュースではちょうど一年前の映像と出来事が報道された。シリア内戦の取材中、砲撃を受け死亡した山本さんは「外国人ジャーナリストがいることで、最悪の事態を防ぐことができる。抑止力。」とシリアに旅立つ前、メモを残していた。ここからシリア取材に対する、山本さんの強い気持ちを感じる。山本さんも世界平和を願う、一人であつた。

また、エジプトでも犠牲者数が近年最悪となる衝突が起こっている。

これらに共通しているものは何か。衝突している人々は皆、自分は正しいと思っていること、犠牲になつているのは、小さな子供や女性などの弱い人々であること、と私は考える。しかし、正義を貫く為には戦わなければならないのか私は不思議だ。かけがえのないものを守る為には戦わなければならないのか私場で命と引き換えに正義の決着をつける犠牲は大きすぎる。

そこで紛争を根絶させる方法であるが、それは価値観の違いや偏見、貧富の差

が世界からなくなることであるがこれはとても難しい。だから話し合わなければならぬのではないか。自分の意見を曲げずに武器や核兵器を使うのは、解決手段とは言えない。小学校で習ったはずだ、相手のことを考えることの大切さを。

これまで紛争解決について考えてきたが、やはり平和な世界を築く第一歩は、多くの人々が未来の幸せを願うことである。そして自分の周りを幸せにすることである。周りの不和、嫉妬、僻みを少しでも改善する、これをみた人も同様に行動したとしたら幸せは広がっていくだろう。私たち一人ひとりの小さな行動が世界の平和、幸せに貢献できるとしたら、これは私たちにとって何か行動する大きなチャンスなのである。